

残された課題と対応方針について

本成果の普及を推進するには、安価で使いやすい装置の製品化、花成制御法のマニュアル化等が必要である。光質以外にも、光の強度、照射時間、照射時期等の制御手段に関するデータを蓄積し、更に効率よく作物が栽培可能な制御方法を検討する必要がある。

	J S T負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計	
	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	小計	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	小計		
人件費								4,450	1,687						6,137	6,137
設備費								0	0						0	0
その他研究費 (消耗品費、 材料費等)								2,189	1,252						3,441	3,441
旅費																
その他								300	35						335	335
小計								6,939	2,974						9,913	9,913

代表的な設備名と仕様 [既存 (事業開始前) の設備含む]

J S T負担による設備 : なし

地域負担による設備 : 植物栽培用レーザー光源